

科目名 (Eng)		人文社会科学演習Ⅰ (Exercises to Humanities and Social Science Ⅰ)								
担当教員		笠井 哲・吉村 忠晴・川崎 俊郎・木原 淳								
対象学年等		学科・専攻	学年	授業期間	区分	単位数	時間数	分野	形態	学修単位科目
		一般科目 工学系4科	2	前期	必修	1	(30)	一般	C	
目標基準 との対応	福島高専の教育目標との対応：(A-3)、(A-4)、(D-2)、(D-3)、(F-2)、(F-3)。									
	卒業時に身に付けるべき学力や資質・能力との対応：4)、6)。									
授業の概要と方針		人文社会科学分野を中心に自ら調査・分析・報告・発表に必要な技能を教授する。								
到達目標		①レポート・論文を作成するのに必要な論理的思考、論理の展開を理解できるようになる。 ②文献やデータの検索・収集とその要約が自分で行えるようになる。 ③データ解析の技能を身につける。 ④調査した内容をレポートにまとめられるようになる。 ⑤調査した内容を第3者に発表できるようになる。								
授業計画										
	週	授業項目	理解すべき内容				事前学習			
前期	1	ノートを作る、論文を読む	与えられた論文を読む、ミニ研究の準備				①授業進行表に記録をつける。 ②配布されたプリントを授業順に整理する。			
	2	論文の要約を行う	論文構成の理解、論文の要約							
	3	論理の展開	論理展開の型、わかりやすく説明する方法							
	4	問題解決の思考方法1	問題解決とは何か、論理的思考方法							
	5	問題解決の思考方法2	相関関係と因果関係、誤った論理的思考							
	6	論文・資料の検索	論文を調べる目的、検索の手順、インターネット検索							
	7	統計データの利用1	統計データを利用する目的							
	8	統計データの利用2	統計データを入手する方法							
	9	統計データの利用3	統計データを利用する方法							
	10	レポートの叙述1	テーマの決め方、レポート・論文の構成							
	11	レポートの叙述2	レポート・論文で用いる叙述							
	12	レポートの叙述3	事実・引用・意見の区別、客観的根拠を示した意見							
	13	問題解決の思考方法3	論理的思考による論文批判							
	14	プレゼンテーション1	目的と方法、資料の作成、発表のやり方							
	15	プレゼンテーション2	全体のまとめ、ミニ研究の中間報告							
試験について		前期中間試験および前期期末試験は実施しない。								
評価方法		レポートや課題の成績を100%として評価する。								
教科書		配布プリントを教科書の代わりとする。								
参考書		菊田千春、北林利治(2006)『大学生のための論理的に書き、プレゼンする技術』、東洋経済新報社 石坂春秋(2003)『レポート・論文・プレゼン スキルズ レポート・論文執筆の基礎とプレゼンテーション』、くろしお出版 学習技術研究会(2006)『大学生からのスタディ・スキルズ 知へのステップ』、くろしお出版								
関連科目		人文社会科学演習Ⅱ								
履修上の注意		授業は配布プリントを中心に進めるので、必ずファイルする。また課題・レポートは期限、様式など指示されたことを厳守する。								